

幼子とともに

2024 年度 6月号

はじめに

平素は、幼稚園の働きに、ご理解とご協力を賜りまして、心より感謝を申し上げます。特に、先日は、幼稚園の遠足のために、ご協力を頂きまして、心より感謝を申し上げます。子どもたちにとっても、大好きなお父さんやおかあさん、大好きな幼稚園の先生やお友だち、大好きな自然など、正に、大好きな存在に囲まれながらの楽しい、有意義な時間になったのではないかと思います。大好きなものに囲まれて生きることが、子どもたちにとって、一番の安らぎであること、そして、その安らぎあってこそその成長であることを、改めて、感じた次第です。改めて、感謝を申し上げつつ、6月もまた、子どもたちの今に寄り添いながら、日々の保育をしてまいりたいと思います。

何にもないけど、何でもある

ある日、年長さんは、久伊豆神社へ散歩に行きました。少し雨が降りそうな様子ではありましたが、先生方の強い思いで、散歩を実施しました。結果、雨は降らず、先生たちの情熱が、雨をとどませたのではないかなどと思った次第です（笑）。

この久伊豆神社には、広い公園があります。トイレや自動販売機はありましたが、それ以外は何もありません。特別な遊具もなければ、砂場すらありません。正に、何もない……。思わず、私も「ここ何もないねぇ」とこぼしてしまいました(^▽^)

しかし、子どもたちは、とてもすごいですね。追いかけて遊びが始まりました。「だるまさんが転んだ」が始まりました。蝶々を追いかけるお友だちもいます。ただただ、理由もなく走り続ける子もいれば、石の上に座って、休憩する子もいます。引率した田口先生や清水先生を追いかける子もいれば、園長に襲い掛かってくる子もいます。と思いきや、ダンゴ虫の捜索隊もいました。

何もない。けれど、そこには何でもありました。子どもたちは、正に、遊びを造り出す天才です。何もないところから、何かを生み出し、そこに楽しさを付け加えていきます。この想像力は、計り知れない力を持っていますし、この力が、更なる脳の活性力にもつながっていきます。そして、確かな育ちへと一歩進むのです。何もないけれど、人生の土台が、ここにはあるのだと感じた瞬間でした。ぜひ、ご家庭でも、何もない、広場で、子どもの作り出す遊びに、皆さんも、乗っかってみてください(o^ー^o)

こんな発想あったのかぁー

最近、沢山の雨が降りました。雨が降った翌日は、色々と気を使います。園庭の遊具が濡れて滑りやすくなっているなどがあげられます。最近気づかされたのは、ブランコの足元です。ブランコの足元に水が溜まってしまうのです。保育者が、バケツを使って、水をかきだします。

ある日、雨の翌朝、ブランコの足元に広がる水たまりに気づかず、子どもたちが幼稚園に来る時間になってしまいました。子どもたちは、思い思いに、園庭で遊んでいます。何人かの子どもたちは、ブランコの前で何やらしています。そこで、気づきました！「水取りしてなかった！」と。

急いで、保育者と私で、バケツをもって、水をかきだしました。前夜の雨量が多かったため、なかなか終わりません。保育者は、スコップでかきだしますが、かきだした水が、逆流してきます。私は汗をかきながら、とにかく無心で、水をかきだします。

すると、何人かの子どもが、協力して、板を持ってきます。この板は、雨の日、幼稚園の門と幼稚園をつな

ぐ架け橋となる板です。その板を、協力しながらもってきて……。ブランコの足元に置いたのです！そして、何食わぬ顔で、ブランコに乗って、こぎだしました。

その手があったか……。ごめん、思いつかなかったわ……。恐らく、雨の日の登園で、架け橋の板が置かれていたのを記憶していたのかもしれませんが。何気ないことを記憶し、それを、別のシチュエーションで適応するという……。天才かっ！自分の衰え、ではなくて、子どもの可能性は、本当にはかり知れませんね(笑)

本気でやってくださいね！に震えた日

先月、皆様と共に、楽しい遠足の時を過ごすことができました。本当に楽しい時間を過ごすことができました。ありがとうございました。

さて、覚えていますでしょうか。あの「オオカミたち」を……。実は、あのオオカミたちの追いかけてっことですが……。少々、やりすぎてしまい、園長は反省をしていたのですが、「園長先生は気にしていると思っていましたが、大丈夫ですよ(^▽^)/」の一言で、復活しました（単純ですみません）！

このオオカミの寸劇ですが、実は、シナリオがあるようでないのです。勿論、ベースとなるストーリーやセリフはあるのですが、先生たちのオーダーとしては「とにかく自由にしゃべってください。」「そして、本気でやってくださいね！」というものでした((((；´Д´)))ｶﾞｸｶﾞｸﾌﾞﾙ。

そして、当日を迎えたわけですが、何よりも、先生方が、「本気」でありました。あの目は、「本気」でした。でも、それが大事であることを改めて教えられたわけです。子どもたちは、一瞬でも、あの世界観に入り込みます。だからこそ、本気で逃げるのです。本気で向かってくるのです。本気で泣くのです（ごめんなさい）。先生の本気と子どもたちの本気がぶつかり合う時、そこで一つのストーリー生まれ、そして、完成するのです。改めて、先生方の本気に圧倒されながら、本気で子どもを楽しませようという気持ちこそが、子どもたちの本気の遊び心を生み出していくんだなぁと思わされた次第なのです。来年は何をさせてもらえるのでしょうかね(・・・？

園長 須賀工

栄養だより

《手洗いが上手な子になろう》

紫陽花がきれいに色づき始める季節になりました。暖かくなると菌が増えやすくなります。食中毒予防のためにも、遊んだ後など外から戻った時や、食事やおやつを食べる前には、うがいと手洗いをきちんとできるようにしましょう。手には、目に見える汚れだけでなく、目には見えない細菌が手のしわや指と爪の間の隙間にたくさんついています。そのため水だけで簡単に手洗いすると、かえって手についている細菌が水の流れに沿って手のひら全体に広がってしまい、手を洗う前よりも汚れが広がってしまいます。石鹸を泡立てて丁寧に手を洗う習慣をつけましょう。コロナ禍の時は、念入りの手洗いが通常になっていました。これからも同じようにしっかりと手洗いを行っていきましょう。また手洗いの前には爪が伸びていないかも確認しましょう。

正しく手洗いをすると、何秒くらいかかるのでしょうか？手洗いにかける時間の目安はおよそ30秒です。水で手をぬらし、石鹸をつけて、泡立てて、手の甲、指の間、指先、手首を洗いましょう。

いけだ かすみ

